

# 第1回会合宿題事項への対応

	宿題事項	対応・回答
1	<p>各都道府県の自動車整備振興会が会員に対してOBD検査の準備支援をきめ細やかに行えるように、利用者ID登録率を完了した事業者等の情報を提供して欲しい。同様に、ディーラーの情報もいただきたい。</p> <p>【根本委員、木原委員】</p>	<p>(一社)日本自動車整備振興会連合会及び(一社)日本自動車工業会からの(独)自動車技術総合機構への依頼を受け、利用者ID登録率を完了した事業者等の情報を提供した。</p> <p>【自動車技術総合機構】</p>
2	<p>各都道府県の自動車整備振興会が行う研修において、特定DTC照会アプリの実演を行えるようにするため、各振興会に対して、研修用IDを交付していただきたい。</p> <p>【根本委員】</p>	<p>各自動車整備振興会に対し、最大10の研修用IDを交付した。</p> <p>【自動車技術総合機構】</p>
3	<p>国産車について、イーサネット対応の見通し如何。</p> <p>【事務局】</p>	<p>資料5-2の通り。</p> <p>【日本自動車工業会】</p>
4	<p>クライアント証明書のインストール等のOBD検査の初期設定を自分ではできない整備工場(町工場)への支援方法を検討すべきではないか。</p> <p>【市川委員】</p>	<p>年明けを目途に、全国の指定工場にポータルサイトのQRコードとコールセンターの電話番号を記したはがきを送付する。また、各都道府県等の振興会を通じて事業者の困りごとを調査する。</p> <p>【整備課、日整連】</p>
5	<p>OBD検査不合格となった場合、特定整備(電子制御装置整備)が必要となるが、電子制御装置整備の認証を取得していない整備工場がこれを行うと未認証行為となる。これを知らない整備工場も多い。対応を検討すべきではないか。</p> <p>【市川委員】</p>	<p>電子制御装置整備の認証取得の必要性については、各種研修において繰り返し周知を行い、併せて未認証工場への調査等による対策を引き続き、実施する。</p> <p>【整備課】</p>
6	<p>せっかく自社でOBD確認を行っても、検査コースにおいて、OBD確認未実施の受検者と同じ列に並ぶと、結局時間がかかってしまう。検査ラインを分ける等により、OBD確認を行ってきた受検者にメリットがあるようにすべき。</p> <p>【根本委員】</p>	<p>OBD確認を実施してきた受検者の取扱いを含め、どのような運用が効率的か、検討したい。</p> <p>【自動車技術総合機構】</p>
7	<p>電子車検証アプリで読み込んだ車両情報を、OBD検査用アプリ(特定DTC照会アプリ)にも連携させることはできないのか。</p> <p>【木原委員】</p>	<p>アプリの目的、根拠、管理者が異なるため、現状、連携させることは難しいが、どのような形が効率的か検討していきたい。</p> <p>なお、OBD検査用アプリも、電子車検証アプリと同じICカードリーダーに対応している。</p> <p>【自動車技術総合機構】</p>